



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月1日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2406 URL <https://www.arte-hd.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 栄義  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	6,297	11.2	334	—	396	261.9	232	—
2020年12月期第3四半期	5,664	△9.5	△11	—	109	△66.5	△235	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 232百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 △235百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	23.50	—
2020年12月期第3四半期	△23.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	9,773	2,885	29.5
2020年12月期	8,347	2,673	32.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 2,885百万円 2020年12月期 2,673百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	10.6	400	224.0	400	31.8	210	—	21.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	10,300,000株	2020年12月期	10,300,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年12月期3Q	399,743株	2020年12月期	399,743株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期3Q	9,900,257株	2020年12月期3Q	9,900,257株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しが期待される一方、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まり、金融資本市場の変動等の影響につき注視が必要な状況にあります。

美容室業界におきましては、2020年4月の緊急事態宣言発令時には顕著な影響を受けましたが、コロナ禍にあってもサービスへの需要は底堅く、来店客数等は回復傾向にあります。しかしながら、第5波の感染拡大に伴う緊急事態宣言の再発令等の影響により来店客数は再び減少傾向を見せました。その後、感染者数は急速に収束しつつあるものの、今後の感染状況の見通しは不透明であり、美容室業界への影響も依然として予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは、全ての従業員へワクチン接種の機会を提供する職域接種の実施等、お客様や従業員の安全と健康を確保することを第一に、政府・自治体からの要請と各店舗の現状に合わせた感染症予防策を徹底し、安心してご来店頂けるよう様々な施策を積極的に実施しております。

また、コロナ禍の影響への対策として、来店促進キャンペーンや新メニュー導入・「巣ごもり消費」需要を捉えた店販強化等の客単価アップ施策を中心に展開しております。同時に、店舗運営、販促、技術教育等あらゆる面でデジタル化を加速させ、生産性の向上を図り、いずれくる「美容業界のDX化」を見据え、グループの更なる成長を支える収益基盤の強化としてデジタル・スマート化に取り組んでまいります。

当社グループは、長期的なポートフォリオ戦略に基づき、複数のブランドを展開し、事業会社ごとにお客様の多様なニーズに 대응しております。高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロンを中核に置き、定期的なヘアメンテナンスの需要拡大を背景にエコミーな料金で施術サービスを行うChoki Petaブランドの出店展開も行っております。当社グループは、それぞれの事業会社・ブランドごとに安心・安全な店舗の衛生管理を徹底した上で、営業活動を展開すると同時に、経営理念「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印として掲げ、美容を通じて地域の皆様を豊かにすることを目的に、地域一番店を目指すため、グループの結束力を高め経営の効率化等の諸施策を実施しております。

デザイン系サロンにおいては、お客様の来店施策として、新たなWebマーケティング戦略を展開し、SNSによるスタイリストの美容情報の発信や自社ホームページでのサロンごとの特色を活かしたコンテンツ、Web予約システムやメール会員獲得による集客の強化に取り組んでおります。単価アップの施策としては、他のサロンと比較した技術の優位性を体感頂く施術と大人客を囲い込む接客力を強化し、更に、ワンランクアップのつや感を演出するカラー施術やデザイン性を重視したパーマ施術、髪質改善の付加価値メニューの提案を行っております。

また、様々なPB商品を展開し、人や地球環境にやさしい天然由来成分配合のオリジナルのヘアケア&スキンケアの新ブランド「ennic(エニック)」シリーズについては、サロン店頭に加え、外部ECサイトや首都圏の大手百貨店でポップアップ販売等、ブランド認知の向上を図っております。更に、関西エリアでの百貨店ポップアップ販売や自社ECサイトでの販売も開始いたしました。

メンテナンス系サロンのChoki Petaは、商業施設への出店を中心に進めることで、買い物ついでに短時間かつエコミーな料金で、カットとカラーのサービスを提供しております。また、2020年度より「セルフドライ」をして頂くことで、お客様の待ち時間や施術時間の短縮につながり、更に利便性が高まるというライフスタイルに密着したサービスを提供しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社主要子会社のチェーン売上高は、株式会社アッシュ(以下「Ash」)が前年同期比113.9%、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク(以下「NYNY」)が同111.7%、株式会社スタイルデザイナー(以下「SD」)が同105.2%、株式会社C&P(以下「C&P」)が同123.8%となりました。また、当社主要子会社の入客数は、同109.3%となっております。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、13,347百万円(同112.7%)となっております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、333店舗(Ash128店舗、NYNY42店舗、SD98店舗、C&P56店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ9店舗)となり、海外店舗数1店舗(シンガポール共和国)を加え、当社グループ店舗数は、334店舗となりました。なお、NYNYが展開する関西圏のChoki Petaの店舗数は、10店舗となっており、グループにおけるFC店舗数は、226店舗(Ash104店舗、NYNY22店舗、SD98店舗、C&P2店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,297百万円(前年同期比111.2%)、営業利益は334百万円(前年同期は営業損失11百万円)、経常利益は396百万円(同361.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は232百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失235百万円)となりました。

当社グループは、美容室チェーン展開を行う事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1,458百万円増加して4,185百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の増加1,778百万円、未収入金の減少118百万円（四半期連結貸借対照表上は流動資産「その他」で表示）、立替金の減少119百万円（四半期連結貸借対照表上は流動資産「その他」で表示）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、31百万円減少して5,588百万円となりました。

これは主として、敷金及び保証金の減少21百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,426百万円増加して9,773百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1,722百万円増加して4,516百万円となりました。

これは主として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う手元流動性の確保を目的に調達した短期借入金の増加1,500百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加629百万円、未払金の減少515百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、508百万円減少して2,371百万円となりました。

これは主として、1年内返済予定の長期借入金に振り替えたことによる長期借入金の減少498百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、1,214百万円増加して6,888百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、212百万円増加して2,885百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益232百万円の計上、配当金支出19百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.0%から29.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,195,214	2,973,996
売掛金	422,352	327,454
商品	145,259	134,969
貯蔵品	14,701	13,387
その他	954,243	738,847
貸倒引当金	△5,024	△3,531
流動資産合計	2,726,749	4,185,122
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,479,813	6,610,221
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,647,405	△3,721,658
建物(純額)	2,832,408	2,888,562
車両運搬具	26,623	26,861
減価償却累計額	△16,306	△18,869
車両運搬具(純額)	10,316	7,991
工具、器具及び備品	1,409,650	1,456,735
減価償却累計額及び減損損失累計額	△963,983	△1,004,581
工具、器具及び備品(純額)	445,667	452,154
土地	136,182	136,182
リース資産	18,021	18,021
減価償却累計額	△3,754	△6,007
リース資産(純額)	14,267	12,014
建設仮勘定	367	3,109
有形固定資産合計	3,439,209	3,500,014
無形固定資産		
のれん	211,186	172,773
その他	69,421	57,381
無形固定資産合計	280,607	230,154
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,408,276	1,387,072
その他	497,530	475,428
貸倒引当金	△5,353	△4,134
投資その他の資産合計	1,900,453	1,858,365
固定資産合計	5,620,270	5,588,534
資産合計	8,347,019	9,773,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	98,446	69,902
短期借入金	150,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	532,455	1,161,880
未払金	1,722,424	1,206,468
未払法人税等	46,214	89,115
賞与引当金	4,128	11,664
株主優待引当金	28,815	3,679
資産除去債務	17,410	18,202
その他	194,105	305,343
流動負債合計	2,794,000	4,516,255
固定負債		
長期借入金	2,040,030	1,542,020
株主優待引当金	3,262	3,262
退職給付に係る負債	72,279	71,876
資産除去債務	549,855	557,790
その他	214,487	196,937
固定負債合計	2,879,914	2,371,886
負債合計	5,673,915	6,888,142
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	498,000	498,000
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,426,357	1,639,209
自己株式	△113,425	△113,425
株主資本合計	2,671,223	2,884,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,880	1,438
その他の包括利益累計額合計	1,880	1,438
純資産合計	2,673,103	2,885,514
負債純資産合計	8,347,019	9,773,657

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,664,741	6,297,260
売上原価	4,290,912	4,638,118
売上総利益	1,373,829	1,659,141
販売費及び一般管理費	1,385,081	1,324,892
営業利益又は営業損失(△)	△11,251	334,249
営業外収益		
受取利息	1,803	1,032
受取手数料	6,448	6,429
貸倒引当金戻入額	—	2,710
受取補償金	—	7,170
助成金収入	116,309	53,468
その他	12,996	10,629
営業外収益合計	137,558	81,442
営業外費用		
支払利息	13,883	13,070
その他	2,857	6,146
営業外費用合計	16,740	19,216
経常利益	109,566	396,474
特別利益		
固定資産売却益	100	—
受取補償金	—	15,184
助成金収入	79,567	5,389
その他	—	3,847
特別利益合計	79,667	24,421
特別損失		
固定資産除却損	1,043	1,723
店舗閉鎖損失	17,918	2,846
減損損失	58,424	30,255
資産除去債務履行差額	18,523	9,120
感染症関連損失	339,125	12,168
特別損失合計	435,036	56,114
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△245,802	364,782
法人税、住民税及び事業税	55,544	123,156
法人税等調整額	△65,724	8,972
法人税等合計	△10,180	132,129
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△235,622	232,652
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△235,622	232,652

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△235,622	232,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	531	△441
その他の包括利益合計	531	△441
四半期包括利益	△235,090	232,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,090	232,211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)においては、「新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは、2021年春以降に収束に向かう」と仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りをしておりましたが、第2四半期連結会計期間に発出された緊急事態宣言の影響等が一部店舗において引き続き生じていることから、新型コロナウイルス感染症の広がり、2021年12月期連結会計年度にかけて徐々に収束に向かうとの仮定に変更しております。

この結果、四半期連結財務諸表への影響はありません。また、当社グループ全体に重要な影響を及ぼすものではありません。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り・判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。